

2023 春学期ブロック大学 帰国生アンケート

※注意※ ここで記載されているアンケート回答は**全て個人の主観によるもの**であり、あくまで『参考情報』としてみなさんに開示しています。**正しい情報とは限りません**ので、その点について了承した上で留学準備に活用してください。

1. 授業について

授業の形態や進め方はどんなものでしたか。

教科書に沿って進められました。想像以上にディベートやディスカッションのような授業は少なかったです。

外大と同じで、教科書に沿って学んでいく感じだった。

午前の授業は教科書に沿ってグループで要約をしてクラスで発表や意見交換をして授業内容を理解することができました。午後の授業では文法の説明を先生から受けた後に文章を作ったり、コミュニケーションをとったりする中で文法を学びました。

午前中に1コマ(3時間)、午後に2コマ(1時間ずつ)

文法や語彙などを学んだ。クラスによって異なるが、プレゼンテーションは月に1回あった。先生が学生にその都度質問しながら授業を進めてくれた。

午前中の授業では、1つのテーマに対して自分の考えを考えたり、それをを用いてほかのクラスメイトと話し合ったり、プレゼンテーションを行ったりするという授業だった。英語のリスニング力やスピーキング力が特に向上したと思う。午後の1つ目の授業は文法や発音を学習する授業だった。アクティビティをしながら、学習していくというスタイルだったので、楽しみながら英語を学ぶことができたと思う。午後の2つ目の授業は自習時間だった。主に、その場で与えられた課題をこなしたり、午前の授業で出された課題を行ったりしていた。

クラス分けテストでレベル別に分けられて、少人数授業という形で毎日授業が行われた。

外大で受講している必修の授業と変わりませんでした。プレゼンの回数は多く、準備する時間が少ないこともありました。しかし、チームですることもありました。

テキストの内容に沿って進められた。月に1回程度、プレゼンテーションなども行った。

グループワークやゲーム形式の授業が行われた。教科書はe-bookを使用した。

授業は午前の3時間の授業では、教科書を中心に進め、午後の2時間の授業では、別の教材を使って文法などの復習などをしました。ディスカッションが多く、進んで話す機会がたくさんありました。

午前中の授業は、文法や長文読解といった教科書に沿った授業の進め方だった。午後からの授業は構文や単語を使ったゲーム、午前中に学んだ文法を使ったオンラインで問題を解く授業だった。

プリント冊子を配られ、それに合わせて授業を進める感じでした。私のクラスは初歩のレベルからの授業でした。クラスによって授業のレベルが大分変わる印象です。2人組や3人組になって自分の意見を話す機会やプレゼンが多かったです。宿題は毎日ありました。

クラス人数、日本人と留学生比率、留学生の出身国などについて教えてください。

クラス:10人(最初の5週間は12人)、日本人6人、韓国人3人、サウジアラビア人1人、(コロンビア人2人)

学校全体:日本40%、韓国人30%、その他(中国、サウジアラビア、メキシコなど)

日本人11人に韓国人2人、中国人3人の合計16人だった。

クラスは18人で、韓国人3人、中国人3人、日本人12人でした。

外大:1人 同志社:5人 法政:1人 中国人:4人 韓国人:1人 ロシア人:1人

日本人6人、韓国人3人、サウジアラビア人1人、コロンビア人2人、合計12人。

クラスの雰囲気はどんなものでしたか。

発言するときは特に手を挙げたりすることはなく、自由に発言していました。

グループ分けがたくさんあったのでクラスの全員と会話をたくさんできました。クラスの雰囲気はよく全員が仲良くできました。授業ではゲーム形式の授業があって楽しみながらも英語力を伸ばすことができました。

先生にもよるが、発言することが求められる。誰かが発言するまで授業が進まないこともある。

とても発言しやすい雰囲気だった。

授業のアクティビティを通して、交流しながら、みんな仲良くなり、良い雰囲気だったと思う。

ディスカッションが多いので、多くの人とコミュニケーションをとりやすかった。

とても発言しやすい雰囲気です、和気藹々としていた。

先生が生徒に意見を求めることが多かった。韓国人の子がよく手をあげて発言している印象がよい

みんな仲が良く、グループワークやペアワークを協力して取り組むことができた。授業の合間にはお互いの国の言葉や文化について教えあった。しかし、英語の発音がそれぞれの国の発音で話されていたのでお互いに通じ合わない時もあった。そんなときはジェスチャーや簡単な英単語を使ってコミュニケーションをとっていた。

日本と違う点は、先生にあてられて発言する形式ではなく、わかった人から発言していくシステムだったことです。そのため、わかった人からどんどん発言していけば授業も早く進みます。それと、全員がしっかり理解できるまでたくさんの方で教えてくれました。

クラスの雰囲気としては積極的に自分から発言する環境が整っていた。そのため、授業中や授業後に先生にわからないところを聞くこともでき、わからないまま放置しておくことはなかった。プレゼンの時もクラスみんな仲が良かったため、緊張して発言できないといったこともなく楽しくプレゼンすることもできた。

先生に質問を非常にしやすい雰囲気でした。普段授業中に先生に質問できない私でも何度か質問しました。「授業」という堅い雰囲気ではなく、和やかな雰囲気です。

授業の中で取り上げられたトピックで印象に残っているものは何ですか。

ストリートパフォーマーについて

カナダ特有のギターについて。初めて知ったことが多かったため印象に残っている。

音楽についてのトピックが印象に残っています。身近にある音楽について興味があったので音楽についての英語の知識を学べてよかったです。自分の好きな曲を紹介するプレゼンでは自分の好きな曲について紹介したり、クラスみんなの好きな音楽を聴いたりして、興味のあるトピックで英語を学べてよかったです。

カナダで起こった異常気象について。

Living statue について。

起業家精神を学ぶ授業が印象的でした。

環境問題、釣り糸や紙おむつも環境問題に大きく影響している

日本のトピックで、日本では侍やフグが有名だったということです。侍というものは知っていましたが、侍の歴史などを知らなかったのでとても勉強になりました。

プレゼンのテーマであるファミリーツリーとスーパーヒーローが最も印象に残っている。ファミリーツリーでは自分の知らなかった家族構成を知れてよかった。スーパーヒーローではペアでプレゼンの用意をし、一から自分たちで架空の人物を作成するのはとても大変だったがやりがいがあるプレゼンテーマだった。

授業を受けるにあたって工夫していたこと、努力していたことはなんですか。

分からない単語をすぐに調べる事

先生の英語が聞き取れなかったこと、わからないことがあっても放っておかず、聞いて授業を理解するために分からないことをなくす努力をしました。また他国のクラスメイトと積極的にコミュニケーションをとり。スピーキング力を上げるためにたくさんの人と会話をしました。

発言すること、わからない単語があったらすぐに調べること、ノートを取ること

私のクラスは日本人が多かったので、なるべく授業中の席は英語でしかコミュニケーションができない人の隣に座って授業を受けるようにしていた。

先生が言ったことをできるだけ自分の力で理解しようしたり、他の国の留学生と英語で交流したりすることを心がけていた。

できるだけ発言しようとした。最初の方はちょっと躊躇って発言回数が少なかった気がするけど日が経つにつれて発言できる回数も増えてきたと思う。

一人で考えてわからないことはすぐに他国出身のクラスメイトに聞いていました。

発言できる場面では、発言するようにしていた。

周りの目を気にせずに、自分の意見を言う。分からない単語はノートに書いて調べるようにしていた

授業で出てきた新しい単語や、先生の英語表現の仕方では分からなかったことは授業が終わった後や授業の合間に調べて、次に活かせるようにしていた。

先生とたくさんコミュニケーションをとることを意識しました。わからないことがあったらすぐ聞き、わかったら積極的に話すように努力しました。

自分がわからない部分はそのまま放置せず先生に聞くように心がけていた。また、私は留学期間中英語で日記を書くことを決めていたので、そのノートに自分が新しく知った単語を記入し、アウトプットできるよう努力していた。

2. 滞在先・自由時間の過ごし方について

ルームメイトはいましたか。	ルームメイトはどこの国の人でしたか。
0人	-
1人	日本、韓国
2人	タイ、韓国

通学手段	通学時間	人数	主に食事はどこでとっていましたか。
バス	0-15分	2名	ホームステイ先
バス	15-30分	4名	ホームステイ先
バス	30-45分	6名	ホームステイ先
バス	60-75分	1名	ホームステイ先

部屋に用意してあったものは何ですか。	自分で用意したものは何ですか。
ベッド、机、椅子、クローゼット、ハンガー、扇風機、ヒーター	洗面用具、バスタオル、箱ティッシュ、
ベッド、机、収納ボックス、ハンガー、アイロン	シャンプーなどの日用品
ベッド、勉強机とイス、棚、クローゼット、鏡、ベッド横のサイドテーブル、洗濯ネット、掃除用のコロコロテープ、テレビ、洗濯洗剤	歯ブラシ、シャンプー、リンス、ボディーソープ
バスタオル、箱ティッシュ、ハンガー、スリッパ、洗濯バスケット	シャンプー、ドライヤー
ベッド、タンス、机、椅子	タオル、シャンプー、トリートメント、ボディーソープ、その他の生活用品
クローゼット・ハンガー・バスタオル・勉強机・キングサイズのベッド	特になし
勉強机、ベッド、ランプ、ソファ、クローゼット、ハンガー	シャンプー、リンス、ボディーソープ(洗面用具類)。
机、椅子、電気スタンド、ベッド、クローゼット	バスセット、ティッシュペーパー、スキンケア類、歯磨き、生理用品

ホームステイ生活をする上で、日本と違って戸感ったこと、驚いたこと。

洗濯は週に1回、シャワーのみ、トイレトペーパーをトイレに流してはいけない

洗濯が週に1度のため、最初は同じ服しかきれず戸感っていた。

シャワーを長時間浴びることができないこと。12時までには電気を消して寝なければならないこと。洗濯機は週末しか使用することができないこと。

夜ご飯の時間が早い(17時~18時)、洗濯が週に1回。

ホームステイを快適に過ごすためのアドバイスをお願いします。

ホストファミリーと積極的に会話(質問を含む)をすること、挨拶をする

ホストファミリーと会話をしてルールを守るといい関係を作れて快適に過ごせると思います。わからないことなどがあつたらすぐにホストマザーに聞くことが大事だと思います。

ホームステイ先のルールを守り、ホストファミリーとコミュニケーションをすること。

ホームステイ先は人それぞれ違うので、他の家族と比べず、自分の家族とできるだけ交流しようという努力をしたほうが良いと思った。

常に身の回りの整理整頓をする。私のホームステイ先では定期的に部屋のゴミ箱の整理やベッドのシーツなどを変えてくれたので、なるべく部屋を綺麗にしていた。

ルールの確認は最初にわかるまで何回もすることをお勧めします。

快適に過ごすためには、自分のしたいこと、嫌いなものなどをはっきりと伝えることがホームステイ先で相手との信頼関係を築くのにとっても大切である。日本人は相手のために我儘することが多いと思うが、他人の考えていることを察するといったことは難しいため、自分の意見ははっきりと言わないと相手に伝わらない。我儘するため込むより自分の意見をはっきり伝えるほうをおすすめする。

週に1回しか洗濯できないのでファブリーズを持っていくこと。服は多めに持って行くこと。下着は特に多めに持っていくと思います。

パソコンは持参しましたか	人数	インターネットは部屋から接続可能でしたか。	その際に費用はかかりましたか。
はい	14名	13名:ワイヤレスで可能 1名:LANケーブルで可能	14名:いいえ
いいえ	0人		

携帯電話は 持参しましたか	利用方法
はい	日本の携帯をそのまま持参
はい	日本から SIM カードを持参:11 名

大学主催のプログラム/イベント/ボランティア/サークルなど。

ナイアガラの滝の観光、映画上映会、放課後の交流会に参加した。その他にも、参加はしていないが、野球観戦、アウトレットでの買い物、遊園地に行くイベントもあった。

遠足やバーベキューなどたくさんのイベントを通して楽しい経験ができました。

大学主催の遠足、ピクニック、BBQ、放課後の交流イベントなど。

同じ大学の人や現地の大学生たちとバスケやバレーやバドミントンをした。

大学近くのカフェやショッピングセンターやスーパーなどに良く行っていた。

カンパセーションサークルという英会話をするサークルが週に 1 回開催されていました。参加できる日は参加していました。他には、放課後は基本海外の人とスポーツをしていました。ジムもただで使えることができ、体育館も使え、ボールなども無料貸し出しだったので、基本的にはスポーツをして放課後を過ごしていました。

放課後、学校内のジムやプールが無料開放されていたためよく利用していた。大学主催のハイキングやキャンプ、ナイアガラの滝に行くプログラムにも参加した。他にも私の通っていた大学からトロントまで2時間近くかかるためトロントにある遊園地や野球の球場などお金を払って参加できるプログラムも用意されていた。

学内/学校近辺でよく利用した施設やお店など

ベンセンターというショッピングモールのようなところで買い物は済ませていました。そこにはたくさんのお店があり、映画館もあったため、映画も何度か見ました。

Tim Hortons というカナダのファストフードチェーン店に行き友達とコーヒーやドーナッツをよく食べていた。

無料で使えるジムがあった。体育館を借りてスポーツも出来たので私は良く卓球とバドミントンをしていた。

学内では教室前のテーブルや別館の大学の施設で放課後勉強をしていた。留学生専用の館の徒歩 1,2 分圏内にマクドナルドと Tim Hortons もあったため、そこでもよく放課後友達と勉強していた。

3. 留学前準備について

留学前に取り組んだ準備

英単語をひたすら覚えること。英単語をひたすら覚えていました。

自己紹介の練習

podcast を聞くようにし、耳を慣れさせた。

普段使う英語文法などをテキストを使って勉強した。

留学前にしておけばよかったと思う準備

英単語をひたすら覚えること。何を言ってるのかが聞こえても、その意味が分からなかったら始まらないと思ったので、英単語をひたすら覚えていました。

留学先で役に立つ英語の単語やフレーズなどを予習しておくとい。

スピーキングをもう少しやっておけばよかったなと感じました。いざ海外の人と対面すると英語が出てこなかったり、自分の英語はあっているのかと不安になったりするので、その自信をつけていけばよかったと感じました。

日本から持って行って役に立ったもの、または喜ばれたもの

ウエットティッシュ

日本のお菓子やみそ汁などをもっていくと海外にはない珍しいものなので喜ばれました。

日本のお菓子、ドライヤー

日本食。動きやすい服、体育館シューズ、日本のお菓子

日本からの土産・日本のお菓子(これは自分用にもう少し持って行っておけば良かったと思った)

体温計や薬

iPad

日本から持っていく必要のなかったもの	日本から持参すればよかったと思ったもの
日傘	アウター(1 持っていたがもう少し持っていけばよかった)
洗剤はホームステイ先で用意してもらっていたので持っていく必要がありませんでした。	ファブリーズ
バスタオル	足りなかったものはスーパーなどで買えるので特になかったです。
シャンプー、洗剤	ドライヤー
多くのマスク(多くて 10 枚くらいで良かった)・ふりかけ・パーティ用のワンピースと靴(結局最後のセレモニーは私服で行った)	インスタントラーメン 風邪のひきはじめ用の薬 水着
大量の洋服。	消臭剤、コロコロ、水筒やタンブラー

4. 留学費用について

お金をどのように準備しましたか。

現金(カナダドル1万、日本円3万)、VISA クレカ(10万)、JCB クレカ(10万)、クレカの上限10万円は少ないと思う

デビットカード(30万)、クレジットカード(30万)、現金(2万)

クレジットカード上限月20万、キャッシュパスポート30万

日本円 3 万円・カナダドル(日本円で 3 万円分)・クレジットカード 2 枚とも上限 30 万円

クレジットカード2枚(上限20万円)

現金 3 万円、クレジットカード上限 30 万円 2 枚、デビットカード 1 枚

現金は 2 万、クレジットカードの上限 20 万

現地で支払った住居費と食費を教えてください。

月に2〜3回の外食費

食費はホストファミリーが3食作ってくれたため、放課後に行くカフェなどでしか使っていない。デビットカード(1万)

外食費は月2万くらい。

週10ドルくらい

外食費、カフェ代などを合わせて、月3万程度。

3ヶ月分の食費は外食代のみで、10万弱

テキスト代と通学費はそれぞれいくらぐらいかかりましたか。

テキスト代はかからなかった。通学費は学校からバスチケット(定期券)を支給されたためかからなかったが、そのバスチケットが使えないバスもあるので、その時や休日にバス代を支払う時はあった。

テキスト代は0(教科書を買うはずでしたが、プリントして渡されたので支払いはありませんでした)、通学費も現地で支払いはありませんでした(3ヶ月分のバスパスをくれました)。

その他旅行や買い物など個人的費用は何にいくらぐらいかかりましたか。

旅行15万程度、買い物娯楽20万程度

50万ほど

旅行は全部で10数万使いました。かいものやお土産などは5万くらいでした。

フロリダディズニー旅行でトータル20万程度

3か月で25万くらい

ニューヨーク旅行約10万円・お土産代約2〜3万円

旅行費は20〜30万、買い物は5〜10万(お土産、服)

5. 学習面について

語学力・コミュニケーション能力の自己分析

コミュニケーション能力は上がったため、リスニング面ではスキルが上がった。ライティングに関しては書くタイミングもさほどなくあまり上がっていない。

最初は話したいことを英語で話すことの難しさに苦戦しましたが、英語でコミュニケーションをとる機会が増え、だんだん話せるようになり、クラスの外国人などとはなしてコミュニケーション能力が高くなったと思います。

リスニング能力は確実に伸びた。また、英語で話すことが苦ではなくなった。積極的に海外の人と英語で話せるようになった。

現地の人やほかの国からの留学生、ホストファミリーとの交流を通して、語学力はもちろん、コミュニケーション能力も向上したと思う。英語でコミュニケーションをすることへのモチベーションを向上させることができた。

3ヶ月間現地の人と話したりしていたので、すらすら話せるわけではないけど、英語を話すことに少しは慣れたと思う。また、文法も習ったことのある文法をやったけど、日本で教えてもらったことよりもより深く、使い分けも多くて難しかったけど、新しい発見ができたと思う。

初対面でも自分の意見を言うことの重要性が改めて理解できました。好きなことを通して語学力が伸びることが一番楽しかったし、うれしかったです。スポーツを現地の方としているときが一番生きた英語を聞けたし、使うことができました。

自ら英語を話そうとすることに対する恐怖心が消えた。またリスニング力、スピーキング力は確実に伸びた。

初めましての人でも英語で日常会話程度なら話せるようになった。

語学力はあまり上がったとは言えないが、英語を話すときの恥じらいは無くなったと思う。また、英語を話そうという意欲が高まった。今までは海外の人と話したりするのは自信がなく抵抗意識があったが、留学を通して異国の人と実際に話しをし、その人の国のことや価値観、話すときのテンションなど様々なことを知ることができた。海外の人とコミュニケーションをとることは楽しいと感じた。

はじめは話すことが不安で、自分から積極的に話すことが苦手でしたが、カンパセーションサークルに参加していくにつれて、自分の会話の能力が上がったと感じました。サークルでは、知らない単語を丁寧に説明してくれ、話せない人たちもいるため、優しく教えてくれます。話せなくても、理解してくれようととても頑張ってくれます。そのおかげで、ミスを恐れず話すことができました。

語学力は、上がったと思います。単語数で変わると思うのですが、異国の友達と話しているときに知らない単語が出たりしたら友達に聞きました。また、先生が話している時に分らない単語があったらその都度メモにかいていました。コミュニケーション能力も上がったと思います。私のホームステイ先では家内での母国は使用禁止だったので日本人と話すときも常に英語を使って話していました。そのおかげで能力向上ができたと思います。

留学前の目標とその達成度

コミュニケーション能力の向上を目標としていたが、達成できなかった。ある程度身につけて留学するべきだと思う。

最初はたくさんの経験をして少しでも英語力を上げて成長できることが目標でした。留学が終わった後は、想像していた以上のたくさんのことを経験しました。英語でたくさんコミュニケーションをとったことでスピーキング力が上がり、積極的に人と関わるようになりました。

ホストファミリーと積極的にコミュニケーションを図ること、現地の友達を作ることを目標にし、それぞれ達成できた。

英語のリスニング力の向上を目標としており、達成できたと思う。

留学前の目標が英語の会話に慣れることと、英語学習のモチベーションを上げることだったので100%ではないけど達成できたと思う。

留学中に計画した目標である、自分から話しかけること、1日の中で一つは会話中に相手のことを褒めるということ、それらを自分の中では完全に達成できた。

留学前の目標は、コミュニケーション能力を上げることだった。元々コミュニケーション力が低く、初対面の人にも話しかけられないし、話しかけられても一言だけ返すようなタイプだった。しかし、留学を機にそんな自分を変えたいと思い、それを1つの目標にした。留学先では全員初対面で緊張はしたが、英語で話していたというのもあり、フレンドリーに会話をできたと思う。クラスメイト達もコミュニケーション力が高く、彼らに助けられた部分も多くあり、以前の自分と比べると少しは克服できたと思う。

留学前の目標は少しでも話せるようになって帰ること、そして海外の雰囲気や海外の人間の価値観を学んでくるということでしたが、達成できたと考えています。自分が思っていた以上に英語を話せるようになったと感じ、価値観も学ぶことができたかなと感じています。

私は以前留学の経験があり、今回の留学は2回目だった。初めての留学時に、自分の英語力のスキル不足を痛感し、ホームステイ先でホームシックになってしまった。そのため今回の留学目標は、積極的に英語を使い会話をする事だった。実際単語が思い出せない時も翻訳機に頼らず、自分の言葉で伝えるように努力できた。

留学を通しての成長ポイント

お店などで頼み方がわからなくても、何度もあきらめずに多くのパターンを試してみるなどといった挑戦しようとする心は身についた。

積極的に人と会話することができるようになりました。もとは内向的で決まったコミュニティにしかいなかったのですが、留学中にたくさんの人と関わり仲良くなったので積極的になれたことが成長できたポイントだと思います。

自分で何事にも取り組んで成し遂げようとする力。積極性。友達やホストファミリーからの信頼を保てるような行動ができる力。

外国でのコミュニケーションに慣れたこと・日本では結構フィーリングで使っていた文法の正しい使い分けとかも習ったのでそこも身についたポイントかなと思う。

周りを見る力。世界に出て、笑顔が大切。

自分の力で問題を解決しようとする力がついた。他者の観察能力や、困っている人を見たときに自分に何かできることはないか、考えるようになった。

日本で海外の方が困っていたら助けてあげることができるようになった。

判断力を身につけることができたと思う。今までは周りに合わせたり、その場の流れで物事を進めたりすることが多かったが、留学にいて自分で判断をする機会が増えた。例えば、ホストマザーは私に、何をどうしたいかいつも聞いてくれた。その判断を毎回自分でしていく内に自然とその力が身についていった。

私はこの留学を通して自分の将来の夢が見つかった。身についた力は、物怖じせずに発言する姿勢と英語のリスニング能力だ。留学を通して、自分の言葉で直接相手に伝えれば理解してもらえたとし、英語を使って会話することの楽しさも学べた。

留学前/留学中/留学後の語学学習に対するモチベーションの変化

前も留学中も後も、変わらず前向きに取り組んでいきたいと思っている。

留学前は少しでも成長できる経験をする事が目標でした。留学後はその経験を生かしてより英語力を伸ばせるように努力しようと思います。

英語で話すことがより楽しくなった。

留学前は英語を話せるか不安でどう勉強をしたらいいか全く分からず、モチベーションが上がらなかった。留学中は海外の友達がたくさん増えた影響でもっと英語を勉強して海外の人ともっと話したいと思うようになった。留学後は、留学中に培ってきた、英語の知識を忘れないようにするために、英語のYouTubeなどを見ている。それによって英語を勉強するモチベーションを上げている。

留学を通して、英語を話すことが楽しいと思えるようになった。これからのモチベーション向上にもつながったと思う。

英語はあくまでもツールということを改めて思い知らされた。どれだけ話せる力があっても、人見知りしてしまうと使う機会もない。語学力も大事だけど、質問する力や日本に関する知識を増やすことが重要だと感じた。

留学前は、英語を話すことに対して、文法ミスや伝わらないことの恐怖心があり、積極的に話そうとしなかったが、留学中にその恐怖心が消え、自ら積極的に話しかけることができるようになった。また、留学後も英語力を伸ばしたいという気持ちが強く芽生え、トイック高得点を今目指している。

留学前は、留学で自分が学んできた英語力を発揮できるように勉強していた。留学中は今日言いたかったけどうまく言えなかったことや分からなかった表現の仕方を明日からはできるようにその日のうちに振り返っていた。留学後は英語を聞きとるのに慣れてきた耳を失わないように、1日に1回は英語を聞く機会を設けている。

留学中 100%力を振り絞った瞬間

プレゼンは自分の中で一番努力した瞬間だと思う。

グループプレゼンでグループの意見が合わないことがあって準備が進まないことがありましたが、たくさん意見を交換することでプレゼンを成功させることができました。

最終スピーキングテストで自分が得た語彙や知識を使得た瞬間。

現地の人とのコミュニケーション・現地での旅行の予約等やタクシーなどの電話

プレゼンテーションの際にすべてを伝えようと全力ではきはきと発信した。

カンパセーションサークルに参加するという瞬間です。はじめは話すのが苦手だし、周りにどう思われるだろうか、ととても不安でしたが、友達に励まされ、参加したことです。他には、プレゼンテーションや、インプロンプトスピーキングなどの時間です。

ホストマザーとの会話です。ホストマザーはカナダ人ではなかったので少し英語に癖がありました。普通の英語も聞き取れない自分が癖のある英語を聞けるようになったのは 100%のリスニング力を振り絞ったからだと思います。

留学先大学の良かった点

先生方が優しく、すごくいい人でした。

楽しいイベントが多かった点。キャンパスがとてもきれいで設備がとても充実されていた。

課題やプレゼンテーションの量が適切だったと思う。

とにかく気候が良くて過ごしやすかった。比較的授業も活気あふれる空間で毎日楽しく授業を受けることができた。

キャンパス内がとても綺麗で充実していた。また、ジムや体育館、プールなどが無料で毎日使用できた。

ナイアガラの滝や、ワンダーランド、ブルージェイズの試合に申し込みすると行けたこと。

都会ではなく、自然豊かなところに立地しており、穏やかなキャンパスライフを送ることができた。

自然豊かな街に大学があったため授業に集中できた。先生もフレンドリーな方が多く、そのおかげで交わることのなかった国境を越えた他クラスの友達もできた。